

*価格は2026年4月現在の税込価格です。

いっしょに読みたい おすすめの本

使い切れない農地活用読本

荒らさない、手間をかけない、みんなで耕す



9784540222030

農文協編 ●1,980円(税込)



田園回帰ブームの今、農地を余らせておくなんてもったいない。半農半Xや有機農業で人を呼び込み、手間のかからない品目で遊休農地をフル活用。「25のおすすめ品目」や「64の用語集」「農地制度のQ&A解説」付き。

続 使い切れない農地活用読本

もっと小さくはじめる、楽しく稼ぐ



9784540251382

農文協編 ●1,980円(税込)



小さい農業を育てる各地の実例をはじめ、人気の国産ナッツや枝物、ヨモギなど、粗放栽培に向く品目と栽培法、農地の法律相談Q&A、農地を守る組織の作り方まで収録。遊休農地をフル活用する知恵と工夫が満載の一冊。

農家が教える農家の土木

バックホーを使いこなす 道路・水路・田んぼを直す 豪雨に備える



9784540221569

農文協編 ●1,760円(税込)



道路、水路のちょっとした補修は自分でやった方が安い、早い、勝手がいい。農家の小さな土木工事基礎講座。コンクリートやバックホーの使い方から、コンクリ舗装や水路の水漏れ修理のやり方、田んぼの合筆まで収録。

だれでもできる 小さい田んぼでイネづくり

緑肥とソバ粕で100㎡60kg



9784540171307

笹村出著 ●1,980円(税込)



できるだけラクにたくさんとれる自給イネづくり。一人当たり年間米消費量の60kgを100㎡でとる。冬の緑肥(レンゲや菜の花、ライムギ)栽培とソバ粕利用がコツ。豊富な図解で初めてでもよくわかる。

だれでもできる 有機のイネづくり

秋処理・育苗・栽植密度で“雑草の生えない田んぼ”



9784540231476

三木孝昭著 ●2,200円(税込)



有機イネ作のカギは雑草対策。その成否は田植えまでに8割が決まる!栽培暦の組み立て、秋からのイネワラ処理、健苗の育成、最適な栽植密度など、農家が夢見る「雑草の生えない田んぼ」づくりのポイントを解説。

ふゆみずたんぼを巡る旅

生きものにぎわう 田んぼの世界



9784540222061

岩淵成紀著 ●2,750円(税込)



冬の間、田んぼに水を溜めたままにする冬期湛水水田は、生物多様性を高め、化学肥料や農業に頼らない稲作を可能にする。長年、田んぼの生きもの調査に取り組む著者が全国を訪ね、個性的な実践とその成果を描く。

どうする 中山間直接支払制度

迷走から未来へ 小田切徳美・橋口卓也著



9784540251269

●1,870円(税込)



集落機能強化加算の突然の廃止に揺れる中山間地域等直接支払制度。その成り立ちから展開を農村社会の変化と共に冷静に振り返り、第5期から6期にかけての混迷の要因を冷静に分析しつつ、今後のあり方を展望する。

地域づくりのやる気学

山浦陽一・中塚雅也・筒井一伸編著



9784540231704

●1,980円(税込)



地域には様々な役割があるが、多くの場合、それはこなすものであって、「やる気」があるとはかぎらない。そうであっても、誰もが、地域づくりに参加し、活動の支え手になれる方法を探究したユニークな地域づくり論。

超図解 災害 サバイバルガイド

72時間生き抜くためのTKB



9784540251276

進士徹著 ●1,650円(税込)



段ボールトイレ、空き缶コンロ、ブルーシートのキャンディ寝袋など、身近なもので避難生活を生き抜くTKB(トイレ・キッチン・ベッド)を確保。農的自然学校から生まれた災害サバイバル術を図解でわかりやすく解説。

ナタ1本ではじめる「里山林業」

山採り枝物で稼ぐコツ



9784540241406

津布久隆著 ●2,420円(税込)



里山林業とは、山に勝手に生えるお宝植物(天然枝物)で稼ぐ新しい山林経営。ナタ1本で誰でもでき、肥料も農薬も要らない。売れる枝物リストから採取・出荷の実際、多様な販路まで、まるごとわかる「里山林業」入門。

小さい林業で稼ぐコツ

軽トラとチェーンソーがあればできる



9784540171581

農文協編 ●2,200円(税込)



「山は儲からない」は思い込み。自分で切れば意外とお金になる。そのためのチェーンソーの選び方から、安全な伐倒法、間伐の基本、造材・搬出の技、山の境界を探すコツ、補助金の使い方まで楽しく解説。

小さい林業で稼ぐコツ2

裏山は宝の山、広葉樹の価値発見



9784540212185

農文協編 ●2,200円(税込)



裏山の「雑木」には知られざる値打ちがある。お宝広葉樹の探し方から、樹種ごとの売り方・活かし方、針葉樹の伐倒・搬出の工夫まで。『季刊地域』『現代農業』で好評の記事を収めた「小さい林業で稼ぐコツ」第2弾。

番線印

ご担当

注文日

月

日

注文扱

随時出荷

FAX 048-299-2812



農文協

普及局行き

TEL 048-233-9351

POP・注文書好評配布中! → http://www.ruralnet.or.jp/bookshop/

枚中の

枚目

農文協 新刊・話題の本

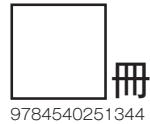
*価格は2026年4月現在の税込価格です。

新版

川がつくった川、 人がつくった川

わたしたちにとって川とは何か

大熊孝著 ●1870円(税込)



9784540251344

自然との共生で鍵となるのは川との共生。身近な川で遊び、川の悩みに耳を傾けることから、川とともにある未来を考える。川と人の好循環を示し、楽しい関係の取り戻しを目指した名著の新版。

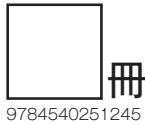


大熊孝著 ●1870円(税込)

地球のまかないごはん

食・農・風景をめぐる往復書簡

真田純子・湯澤規子著 ●1760円(税込)



9784540251245

誰が風景をつくるのか？地球と人が「まかない合う」暮らしとは？ 景観工学者と人文地理学者が、石積みと風景とごはんについて世界のあちこちで交わした往復書簡。持続可能な暮らしをつくるための風景の〈ケア〉論。

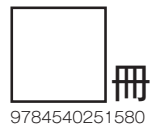


いま知りたい

お米と農家の話

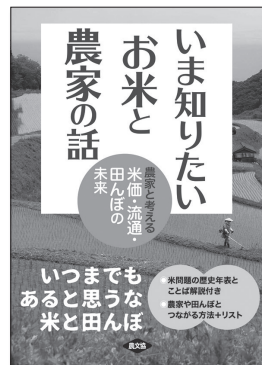
農家と考える米価・流通・田んぼの未来

農文協編 ●1870円(税込)



9784540251580

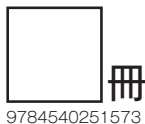
お米はなぜ足りなくなったのか。米価はどのように決まるのか。農家の考える適正価格とは。農家とつながる方法とは。米問題を歴史の視点でもふり返り、作り手と食べ手のどちらにも無理のない出口を探る。



つながるごはん

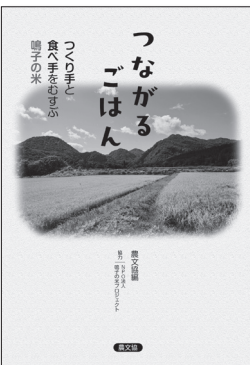
つくり手と食べ手をむすぶ鳴子の米

農文協編 ●1760円(税込)



9784540251573

市場価格に左右されることなく、つくり手(農家)と食べ手(消費者)が互いに納得する価格とは。他に例のないCSA(地域支援型農業)となった「鳴子の米プロジェクト」に注目。その実践から、米の未来を探る。



番線印

ご担当

様

注文日

月

日

注文報

随時出荷

FAX 048-299-2812



農文協

普及局行き

TEL 048-233-9351

POP・注文書好評配布中！ → <http://www.ruralnet.or.jp/bookshop/>